

決算総括質疑通告議員

平成30年第5回（9月）定例会

- 1 宮 澤 一 照
- 2 樗 沢 諭
- 3 堀 川 義 徳
- 4 横 尾 祐 子
- 5 岩 崎 芳 昭
- 6 渡 辺 幹 衛
- 7 小 嶋 正 彰
- 8 高 田 保 則
- 9 霜 鳥 榮 之

決算総括質疑通告要旨

平成30年第5回（9月）定例会

1 宮澤 一 照

1 都市と農村交流推進事業に関連して

- 1) 誘致活動等謝礼の内容はどのようなか。
- 2) ヴァイオリン演奏委託料、ヴァイオリン演奏指導委託料の内容はどのようなか。
- 3) 農家民泊について、受入れ農家の件数はどのようなか。
- 4) 教育体験旅行参加者謝礼の内容はどのようなか。

2 インバウンド観光推進事業に関連して

- 1) 外客誘致体制整備について、事業内容はどのようなか。
- 2) 香港現地プロモーション委託の内容はどのようなか。
- 3) 外国人観光客の誘客を促進するため、どのような事業を行い、成果についてはどのようなか。

3 観光地魅力創造事業に関連して

- 1) 妙高版DMO体制整備について、内容はどのようなか。
- 2) マーケティング効果の検証結果はどのようなか。
- 3) スノーモービルの運営支援の内容はどのようなか。

4 道の駅あらい「くびき野」推進事業に関連して

くびきの情報館等管理運営委託料、修景池土砂撤去委託料、Wi-Fi機器増設工事等の内容はどのようなか。

5 道の駅あらい整備事業に関連して

設計競技審査員謝金、雪室整備講師謝金等の内容はどのようなか。

6 克雪施設整備事業に関連して

消雪パイプについて、平成 29 年度不備な箇所の状況はどのようなか。

7 農林水産施設災害復旧事業に関連して

平成 29 年台風 21 号により被災した農業用施設、農地及び林道施設について、29 年度中の復旧状況と今後の見通しはどのようなか。

2 樗 沢 論

1 地方創生推進事業について

- 1) 地方創生推進に向けた優位性の高い分野の調査研究、視察等の内容と施策への反映など今後の取り組みはどのようなか。
- 2) 総合戦略評価委員会の評価・分析はどのようなか。
- 3) 妙高わかもの会議の提言内容はどのようなか。
- 4) 新井南部地域や中心市街地の現状認識と活性化策はどのようなか。
- 5) 北陸新幹線等を活かした施策への取り組み状況はどのようなか。
- 6) 「住んでよし、訪れて良しの妙高」、「生涯活躍のまちづくり」の施策推進はどのようなか。

2 コミュニティ防災組織育成推進事業について

- 1) 連続する豪雨災害等の対策と自主防災組織における訓練の充実に対する取り組み状況はどのようなか。
- 2) コミュニティ防災組織の機能向上策と補助金の内容はどのようなか。
- 3) 防災士研修会、防災リーダー研修会の目的と成果はどのようなか。

3 防災体制整備事業について

- 1) 災害備蓄品の整備基準の見直し内容と各避難所の備蓄内容はどのようなか。
- 2) 災害用無人航空機の活用内容はどのようなか。

4 市税徴収確保対策事業に関連して

- 1) 徴収嘱託員の体制と業務内容はどのようなか。また財産調査、差し押さえ等の取り組み内容はどのようなか。
- 2) 全体の滞納件数は、前年度比 200 件減少し、徴収率、滞納繰越額も改善しており高く評価できる。具体的な取り組み内容と成果の分析はどのようなか。
- 3) 市税徴収におけるコスト削減の取り組みはどのようなか。
- 4) 残る滞納件数 517 件の主な業種と対応はどのようなか。
- 5) 新潟県地方税徴収機構への参加目的はどのようなか。
- 6) 国民健康保険税の未納額があり、また徴収率が下がり課題と認識するが、その要因と対応はどのようなか。
- 7) 税の公平性の確保のために、地域経済等の動向を注視し様々な手法で対策が必要だが、今後の取り組みはどのようなか。

5 介護保険特別会計の地域支援事業について

- 1) 当市の高齢者の単身世帯、夫婦のみ世帯、在宅介護世帯の世帯数は。
- 2) 「健康長寿！『目指せ 元気 100 歳』運動」の取り組みと効果はどのようなか。
- 3) 在宅医療・介護連携の新たな取り組みは。
- 4) 新たに組み込んだ「認知症カフェ」の取り組みと認知症サポーターの養成と取り組みはどのようなか。

6 特色ある教育活動支援事業について

- 1) 各小中学校、特別支援学校の交付金、教育目標、事業の内容はどのようなか。
- 2) 新井南小学校の小規模特認校の取り組みと海外宿泊体験学習の成果はどのようなか。
- 3) 小学校のふるさと学習と中学校のキャリア教育の取り組みはどのようなか。

3 堀川義徳

1 地方創生推進事業について

- 1) 妙高わかもの会議の提言書の取り扱いはどのようなか。
- 2) 各種地方創生に向けた調査研究の成果と課題はどのようなか。

2 六次産業化推進事業について

- 1) 加工用ブドウの試験栽培結果はどのようなか。
- 2) 山村活性化支援交付金を活用した特産品開発の取り組み成果はどのようなか。

3 土地の境界調査について

- 1) 地籍調査事業の進捗状況はどのようなか。
- 2) 課題と今後の見通しはどのようなか。

4 森林多面的機能発揮対策事業について

- 1) 整備面積の減少について、理由はどのようなか。
- 2) ふるさと妙高の家づくり事業について、成果はどのようなか。

5 特色ある教育活動支援事業について

- 1) 各学校における事業内容と成果はどのようなか。
- 2) 宿泊体験学習の内容はどのようなか。

6 コミュニティ・スクール推進事業について

これまでの成果と今後の課題についてどのようなか。

4 横尾 祐子

1 犯罪のないまちづくり推進事業について

- 1) 平成 29 年度の振り込め詐欺被害の件数、被害額ともに増加傾向にあるが、今後の対策について取り組みはどのようなか。
- 2) 悪質商法や詐欺の前兆の発生事案など、近年の傾向と対応はどのようなか。
- 3) 消費生活相談窓口の主な内容は。

2 妙高型エコツーリズム推進事業について

- 1) 近年の参加者の推移は。
- 2) 市民の環境保護意識の高揚につながっているか。
- 3) 今後の取り組み内容は。

3 ごみ減量・リサイクル推進事業について

- 1) 子ども服やおもちゃ等のリユースマーケットの開催状況と成果は。
- 2) 「もったいない！食べ残しゼロ運動」の成果は。
- 3) 衣類、かばん類、食器類のリユースが前年度より少ないが要因は。

4 生活保護事業について

- 1) 世帯区分ごとの生活保護世帯数の推移と現状の認識はどのようなか。
- 2) 生活保護事業における各扶助費の推移はどのようなか。
- 3) 医療扶助の増加に対する取り組みは。

5 生活困窮者自立支援事業について

- 1) 生活困窮者等の就労支援の状況と評価はどのようなか。
- 2) 就労準備支援事業の状況はどのようなか。
- 3) 今後の生活困窮対策の考え方はどのようなか。

5 岩崎芳昭

1 地方創生推進事業について

- 1) 人口減少の要因をどのように捉えているか。
- 2) 住みよさランキングは県内でトップだが、これからは「住みたい・住んでみたいランキング」を上げる必要がある。どのような対策を講じてきたか。また、有効な対策はあるのか。
- 3) 税収の減少も予測されるが、雇用の拡大、税収の増加につながる支援策はどのようなか。

2 妙高出会いサポート事業について

- 1) 様々な出会いの機会創出（イベント）について、参加者の募集方法、結果、課題等はどのようなか。
- 2) カップル誕生後のフォローが大切と考えるがどうか。
- 3) 「縁結びボランティア」の役割はどのようなか。

3 鳥獣対策事業について

- 1) イノシシ、ニホンジカ等の捕獲頭数が増加している。猟友会会員の高齢化や会員の減少対策はどのようなか。
- 2) イノシシによる農作物被害額が急増している。徹底した処分が必要ではないか。

4 焼却施設管理運営事業について

- 1) 1週間あたりの稼働時間が、80時間から60時間に短縮された。炉内温度の低下による燃焼効率などの影響が考えられるが、メリットとデメリットはどのようなか。
- 2) これまでの延命化対策はどのような補修や機器更新を講じてきたのか。また、これからの延命化対策はどのようなものか。
- 3) ごみ処理プラント全体の老朽化による処理能力の低下はないのか。
- 4) 計画的に設備機器を補修・更新しているが、あと何年程度の稼働を見込んでいるのか。
- 5) 新たな廃棄物処理施設の整備計画に着手する必要があると考えるがどうか。

5 奨学金貸付事業について

- 1) 奨学金貸付決定者の総数はどのようなか。
- 2) 卒業後、市内に居住している「特別免除の該当者」は何人か。また、全体での5カ年の地元定着率はどのような状況か。

6 渡辺幹衛

1 職員管理事業について

- 1) 時間外勤務やいわゆる「サービス残業」の状況と対応はどのようなか。
- 2) 年次有給休暇の取得状況と対応はどのようなか。
- 3) メンタル休暇取得状況と対応はどのようなか。
- 4) 障がい者雇用の状況はどのようなか。

2 入札制度検討事業について

- 1) 市内の主要建設業者の請負契約シェアはどのようなか。
- 2) 維持管理委託について、市内の主要建設業者の請負契約シェアはどのようなか。

- 3) 全発注件数における元請けと下請けの市内外業者の占める状況はどのようなか。
- 4) 指名された業者間で入札額に大差がつく理由をどのように捉えているか。
- 5) 再入札でも初回の 50%以下だったり、不落随契で大幅ダウンだったりするのはなぜだと考えるか。
- 6) 低価格落札の状況はどのようなか。
- 7) 低価格落札は、品質やできばえに支障を生じないか。
- 8) 「相指名」業者間の下請け状況はどのようなか。
- 9) 指名されただけで 1 件の受注もなかった業者の状況はどのようなか。

3 子どもの健康づくり事業について

- 1) 昨シーズンのインフルエンザの流行状況と対応はどのようなか。
- 2) インフルエンザ対策としての「手洗い」の効果はどのようなか。
- 3) 「あいうべ体操」の検証はどのようなか。

4 妙高高原体育館の維持管理について

施設の管理運営事業は独立して記載されていないが、収支はどのようなか。

7 小 嶋 正 彰

1 財政の健全性維持と長期的な展望について

- 1) 民生費の割合が年々増加傾向にあるが、財政の健全性の面から見た平成 29 年度における評価と長期的な動向及び今後の対応はどのようなか。
- 2) 認定こども園・保育園運営事業は少子化対策や子育て支援の面からも充実すべきだが、事業費増加の動向と対応は。
- 3) 公共施設の老朽化対策等の投資的経費の確保も必要であり、人口減少が進む中で歳入の確保の現状と今後の見通しはどのようなか。
- 4) 目的税は適切に使われているか。
- 5) 財政の健全性を維持しつつ、地域の活力を高めていくことや子育て支援等の多様化する市民サービスの充実を図るための財政運営について考えはどのようなか。

2 防災体制整備事業における妙高市地域防災計画（風水害等共通対策編）の見直しに係る考え方と円滑な実施体制について

- 1) 地域防災計画のうち、風水害等共通対策編及び、個別対策編火山対策が平成 30 年 2 月に改定された。見直しに当たっての基本的な考えはどのようなか。
- 2) 災害時要配慮者の避難行動支援と自主防災組織の役割、個別支援計画と地域情報の共有、また積雪期雪下ろし等の対応はどのように実現するのか。
- 3) 食料・生活必需品の確保計画では、市民の責務として最低 3 日間の水・食料等を自ら備蓄で賄うことが原則と示されたが、市民への周知はどのようなか。
- 4) 文化財の風水害対策では、所有者の責務と地域の役割が示されたが、どのように対応していくのか。
- 5) ボランティア受け入れ体制整備は市民生活の復旧に重要な項目と考える。日常から災害発生時にボランティアセンターを担う人材の確保・育成が必要だが、どのような対応を図ったか。
- 6) 見直し後の地域防災計画に基づく訓練について、図上訓練等の項目も追加されたが、どのように取り組むのか。また総合防災訓練ではどのように活かされたのか。
- 7) 県の防災計画との連携等はどのようなか。また、今回、地震被害想定の見直しは見送られたが、高田平野東縁断層帯による直下型地震の最新の知見に基づく被害想定と防災計画の見直し、女性の視点による改善策を積極的に取り入れなど今後の見直しについてはどのようなか。

8 高田保則

1 地方創生に向けた調査研究について

各課との連携による新規事業開拓に向けた調査研究とあるがどのような内容で、成果はどうであったか。

2 妙高市歴史文化基本構想について

文化行政のマスタープランを策定とあるが、全体的に構想の深度は浅い。特に歴史については語られていないと感じたが、この基本構想を今後どのように活用していくのか。

1 介護保険・福祉関係の事業の実態と取り組みについて

1) 施設関係での実態について

- ① 各施設での入所実態と待機状況、今後の推移の見通しはどのようなか。
- ② 全国的には介護職の人員不足が言われているが、各施設における介護職員の充足率（ベッド数との関係で）や処遇実態の格差等はどのようなか。
- ③ 各施設からの相談事等はどのようなか。

2) 地域福祉の推進について（社会福祉協議会助成事業）

- ① 生活支援ボランティアサービスの実態とその評価はどのようなか。
- ② 災害ボランティアセンターの運営体制の強化はどのようなか。

3) 地域支援事業における介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業費）と包括的支援事業に関して

- ① 「健康長寿！『目指せ 元気 100 歳』運動」の実態と評価・今後の課題はどのようなか。
- ② 地域の茶の間の実態と支援はどのようなか。
- ③ 介護予防サポーター養成とボランティア活動の実態はどのようなか。
- ④ 総合相談の実態と内容・対応はどのようなか。

2 地球環境保全地域活動推進事業について

- 1) 省エネチャレンジ事業と住宅用太陽光システム設置費の補助について、実態と今後の対応等はどのようなか。

3 霊園維持管理事業について

- 1) 霊園の空き状況とまだ墓の建っていない個人分の実態はどのようなか。
- 2) 管理の実態と利用者の苦情等の対応はどのようなか。

4 塵芥処理費について

- 1) 旧新井頸南広域行政組合とのダブル決算になっている焼却施設管理運営事業、余熱利用施設維持管理事業、最終処分場維持管理事業の内容はどのようなか。
- 2) 焼却施設管理運営事業のごみ処理施設補修工事はどのようなか。
- 3) 余熱利用施設維持管理事業のほっとランド施設管理委託料はどのようなか。

4) 最終処分場維持管理事業の実態と今後の見通しはどのようなか。

5 就労支援事業について

1) 資格の取得支援において、事業実施後の実態と成果、今後の対応はどのようなか。